

長崎県保険医協会／こども医療長崎ネット 「妊産婦さんの医療費助成に関するアンケート」 報告（速報）

【実施期間】 2021年4月14日～6月30日 （5月31日第1次締切）

【対象】 妊婦、子育て中の保護者

【配布先】 長崎県内の保育園・幼稚園、婦人科標榜医療機関、助産師会等

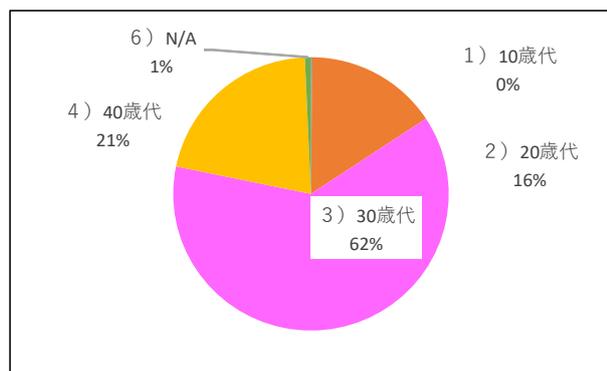
【方法】 アンケート用紙（A4版1枚・両面）を郵送し、郵送・FAX・インターネットで回答。

【回答数】 アンケート用紙12,405枚＋ネット回答596＝13,001（6月16日現在）

1. あなた（アンケート記入者）について

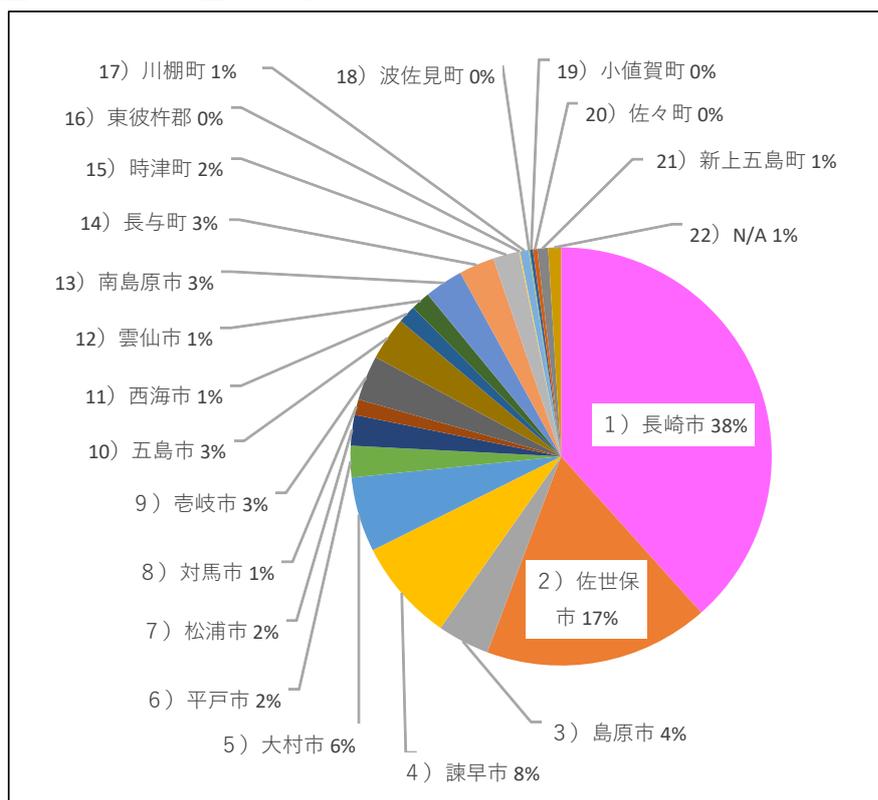
（1）年齢は？

年齢→ 1) 10歳代 2) 20歳代 3) 30歳代 4) 40歳代



（2）あなたの現在のお住まいは？里帰り中の方は里帰り先の住所をご記入ください。

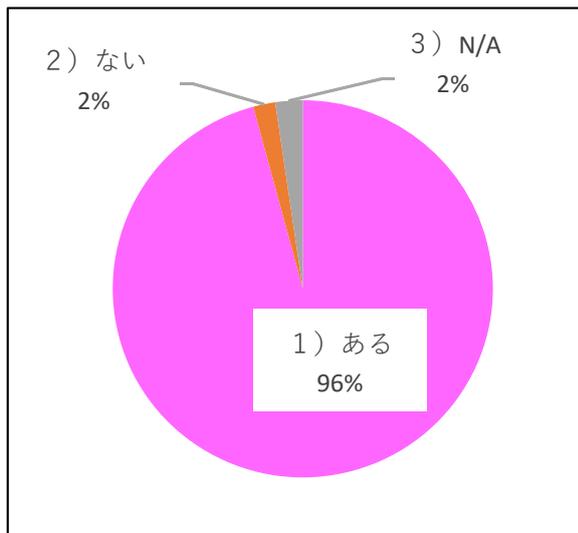
- 1) 長崎市
- 2) 佐世保市
- 3) 島原市
- 4) 諫早市
- 5) 大村市
- 6) 平戸市
- 7) 松浦市
- 8) 対馬市
- 9) 壱岐市
- 10) 五島市
- 11) 西海市
- 12) 雲仙市
- 13) 南島原市
- 14) 長与町
- 15) 時津町
- 16) 東彼杵町
- 17) 川棚町
- 18) 波佐見町
- 19) 小値賀町
- 20) 佐々町
- 21) 新上五島町
- 22) 県外



(3) 妊娠(流産・中絶を含む)・出産した経験はありますか(現在妊娠中も含む)?

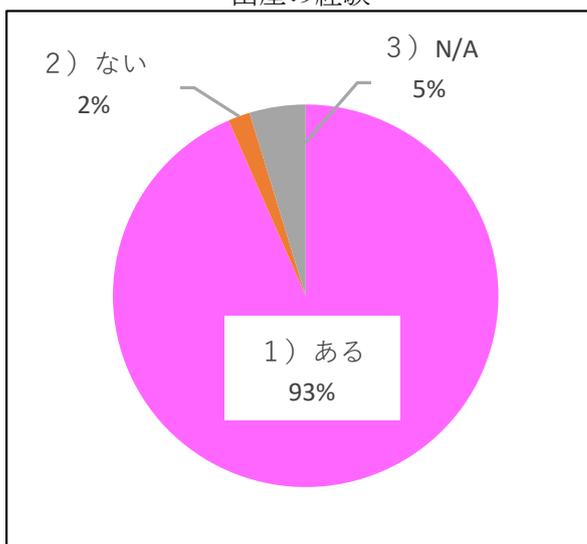
妊娠 1) ある 2) ない

妊娠の経験

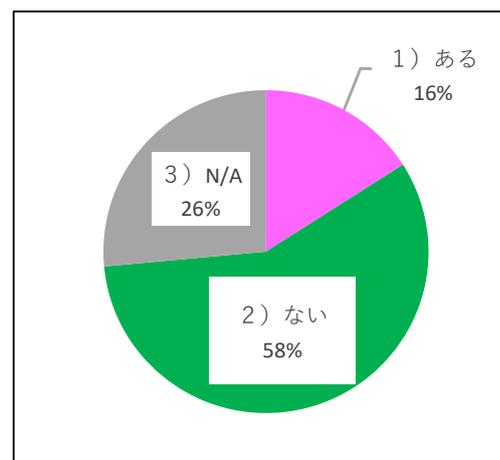


出産 1) ある →長崎県以外での出産の経験は? ある () 都道府県 ・ ない
2) ない

出産の経験



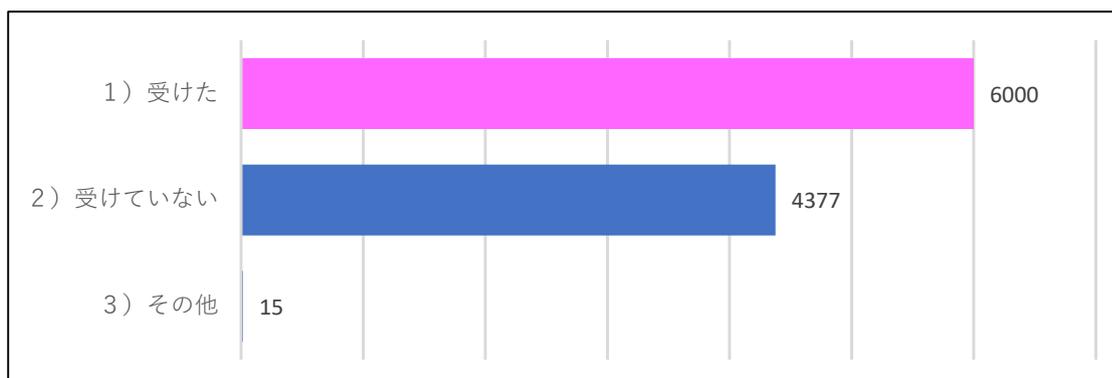
県外での出産の経験



2. 妊娠経験のある方におたずねします

(1) 妊娠中に、健診以外に産婦人科の診療を受けましたか(現在妊娠中も含む)?

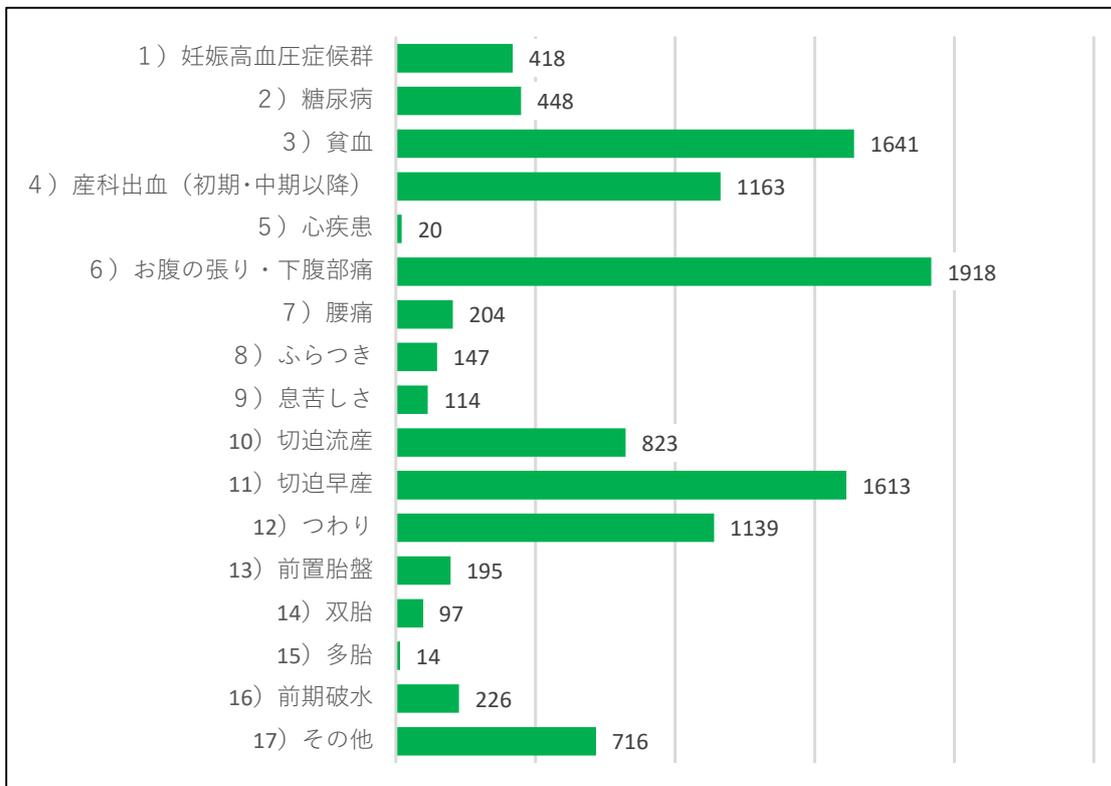
1) 受けた 2) 受けてない 3) その他



<「受けた」とご回答の方>

→①産婦人科での診療の場合、下記のどれにあてはまりますか？（重複可）

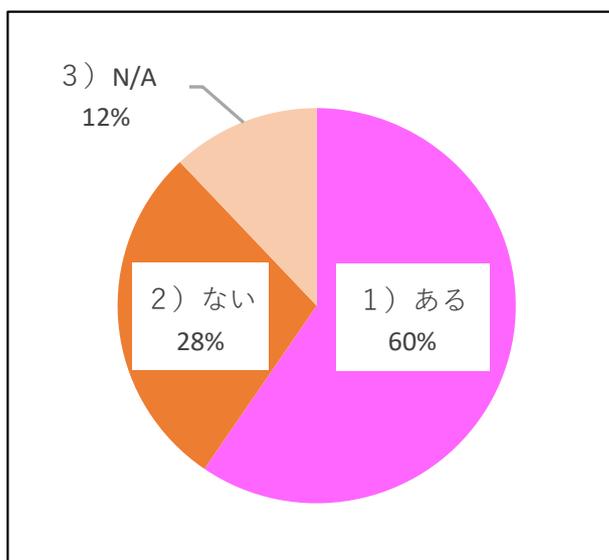
- 1) 妊娠高血圧症候群 2) 糖尿病 3) 貧血 4) 産科出血（初期・中期以降）
 5) 心疾患 6) お腹の張り・下腹部痛 7) 腰痛 8) ふらつき 9) 息苦しさ
 10) 切迫流産 11) 切迫早産 12) つわり 13) 前置胎盤 14) 双胎 15) 多胎
 16) 前期破水 17) その他（ ）

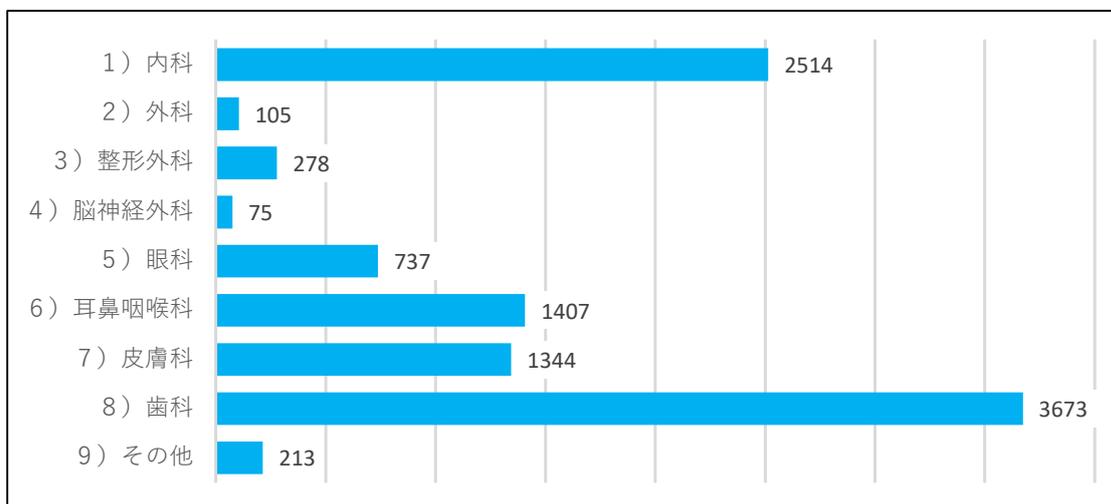


→②妊娠中に、産婦人科以外の診療科を受診したことがありますか？ある場合に○をしてください（重複可）。

- 1) ある→ 1) 内科 2) 外科 3) 整形外科 4) 脳神経外科 5) 眼科 6) 耳鼻咽喉科
 7) 皮膚科 8) 歯科 9) その他（ ）

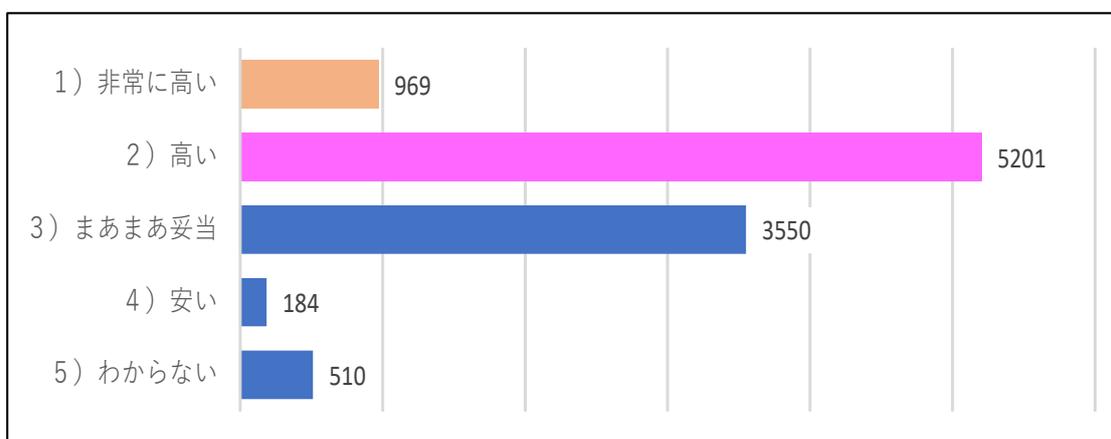
2) ない





(2) 妊娠期間を通して医療費や健診代にかかる自己負担は、どう感じますか？

1) 非常に高い 2) 高い 3) まあまあ妥当 4) 安い 5) わからない



(3) 妊娠中の医療機関受診で困ったことをご記入ください (抜粋)

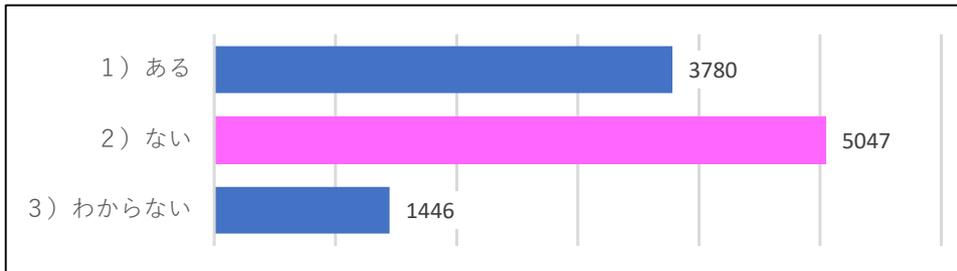
- * ほぼ毎回エコー代3,000円かかるのが大変でした。低所得世帯やひとり親には本当に痛手だと思います。また、小さい上の子を連れての受診が大変。受診の際、そばにいて上の子と一緒に待ってくれるサポーターがいるとありがたい。(イメージとしては近所のおばあちゃん)託児ではなくあくまでも一緒に見てくれる存在。そうすれば、世間話ついでに子育ての悩みや愚痴も話せる。悩みを解決してくれなくていい。ただ言葉が通じる大人と会話がしたい。一日中乳幼児というお母さんの中にはそういう人が多いと思う。孤立しがちな母親は、誰かとどうでもいい会話をしただけで気持ちが救われたりするから。(30歳代)
- * 子供連れで受診ができないため、夫に仕事の調整をしてもらい、子供たちをみてもらわないといけなかった時があった。(30歳代)
- * 普通の妊婦検診でも自己負担があるのは金銭的にきつかった。(20歳代)
- * 妊婦検診の補助だけで賄えないと気づいた時困った。(30歳代)
- * 妊娠判明時期に歯科通院していた為、悪阻(1人目妊娠時に臨月まで悪阻なのか体調不良でした)が酷くなる前に次回から歯科の受診予約を詰めて入れ短期で治療を終わらせたいと申し出ると難色を示された。他の歯科患者と平等に2~3週間あけての予約との事で。結局次々回の予約を取る方法で週1の受診を許可されたが、毎回受付の方にあからさまに嫌な顔をされた。(30歳代)
- * 自宅近くに産婦人科が無く、体調のせいもあって転院できなかった。遠かったので通院が大変だった。(40歳代)
- * 上の子を連れて来ないでと言われたので、受診の日程を調整する必要があった(40歳代)
- * 待ち時間が長い。予約制の為、気軽に受診できない。少し風邪気味だな、くらいは市販薬で済ませたり、困り事があってもスマホで調べたりしていた。妊婦さん専用ダイヤルがあると便利だと思う。あとは、産婦人科がもっと増えてほしい。(30歳代)
- * 日によっていくら費用がかかるか分からない。(30歳代)
- * 移動手段や車場代も別に払わないといけないと診察の度に出費がかかってしまう。(30歳代)

- * 健診の際、コロナの影響で、受診に上の子も連れて行けなかったため、保育機関を利用してない上の子を家族等に預けたりするのが大変です。(30歳代)
- * 上の子を連れての受診。(40歳代)
- * 定期的な受診時の会社の休暇。(30歳代)
- * 待ち時間が長い、予約が取れない。(20歳代)

3. 出産経験のある方におたずねします

(1) 出産後1年以内に、妊娠、出産を原因とする体の不調を感じたことがありますか？

- 1) ある 2) ない 3) わからない



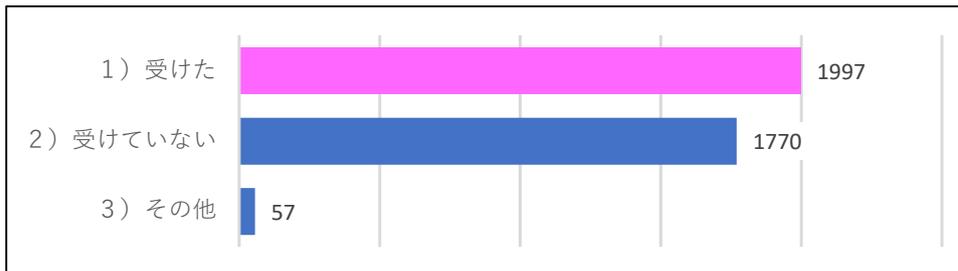
<「ある」とご回答の方>

→産婦人科の診察を受けましたか？

1) 受けた

2) 受けてない →(理由:

3) その他



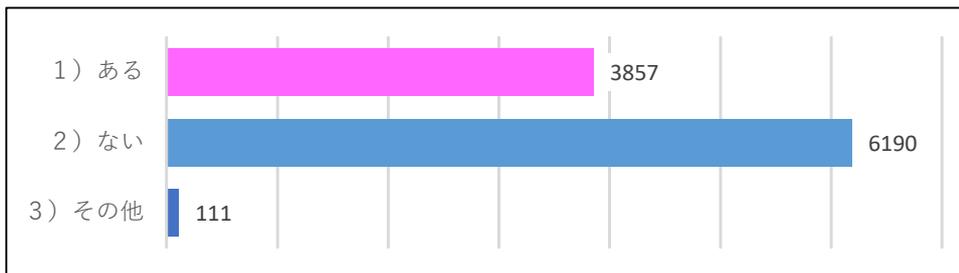
産婦人科の診察を受けていない理由 (抜粋)

- * 赤ちゃんを預ける先がなかったため
- * 育児・仕事に忙しかったため。
- * 行く時間がなかった
- * 育児で忙しい
- * 一時的なものだったので。
- * 一日寝ていたら良くなった
- * 医療費がかかる。だるくて動けなかった
- * 受けるほどではないと思ったため。
- * お金もかかるし、出産が原因と分かっているから
- * かかりつけの内科を受診した為
- * がまんできたから
- * 経済的、時間的理由
- * 腰痛など産婦人科以外と思われるため
- * こつぱんのゆがみだから
- * 子どもをあずけることができなかったため。
- * コロナ禍により外出するのが怖かった。
- * 混んでいるため
- * 産婦人科以外の不調だったから (手足のしびれ)
- * 時間がたてば回復すると思ったから
- * 自然に治ると思ったから
- * 自分のことは後まわしにだった
- * ネットで調べて、大丈夫だろうと自己判断した

* ホルモンバランスのせいだろうと自分で判断した為。

(2) 出産後1年以内に、妊娠、出産を原因とする精神的な不安定さを感じたことがありますか？

1) ある 2) ない 3) その他



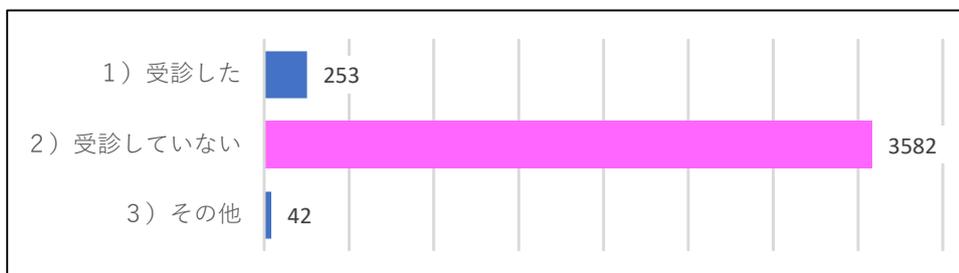
<「ある」とご回答の方>

→そのときに、心療内科・精神科を受診しましたか？

1) 受診した

2) 受診していない →(理由:)

3) その他



精神科・心療内科の診察を受けていない理由（抜粋）

- * 赤ちゃんがいて、服薬及び休憩できないから
- * 赤ちゃんを連れてまで、受診しようとは思わなかったから
- * 当たり前のことだと判断したから、高いしもったいない。
- * ある程度すれば落ち着くと思ったので
- * 行きたくなかったから
- * 行きづらい 行くためには子供を誰かに預けなければならない
- * 行く基準が不明だった。
- * 行く時間がないのと、甘えてると思われそうだから。
- * 行くためのハードルが高い。(家族の理解や周りの目が気になる。)
- * 行くまでもないと思ったから
- * 行く余裕がなかった。(金銭面、子供を見てもらうようお願いする)
- * 一時的なものだったから。産後のホルモンバランスの乱れだと思っている。
- * 一時的なものだったから。周りにサポートしてくれる人がいたから。
- * 一時的に不安定さはあったが、家族も協力してくれたので
- * 移動が大変。受診・相談することに気が引けた。
- * お金に余裕がなかったから。
- * 家族、保健師や友達に話を聞いてもらって安定してきたため
- * 家族に相談、保健師、助産師に相談
- * 家族にたくさん話を聞いてもらえたので解決できた。支えてくれる人がたくさんいて恵まれていた。
- * コロナで精神的におかしくなりそうでした。
- * 気軽に行くところではないと思ったから。
- * 経済的な理由
- * 子育て中は子育てに精一杯で自分のことは後回しになるので
- * 子連れでの受診に気がひけた
- * 子供を置いて受診出来なかった。預けられなかった。受診の余裕が無かった。

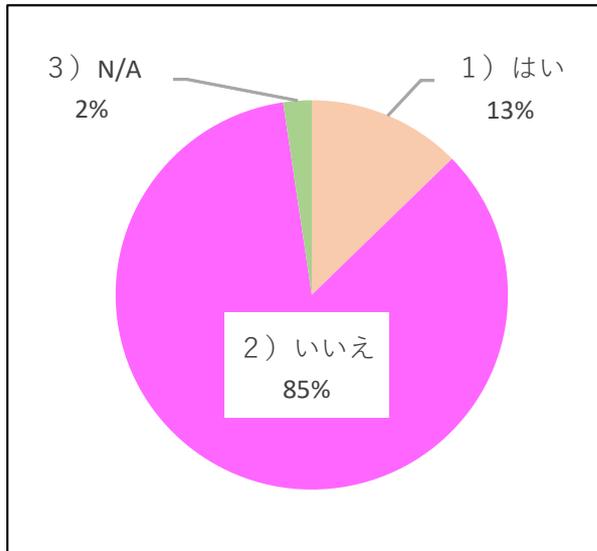
4. すべての方におたずねします

(1) 他県や市では、妊産婦さんを対象に医療費の自己負担分を補助する「妊産婦医療費助成制度」があります（たとえば、富山県では妊娠に関連した疾患は出産翌月まで医療費自己負担が無料、岩手県では出産翌月まで全ての疾患で妊産婦医療費助成制度が受けられます*）。

この制度のことをご存知でしたか？

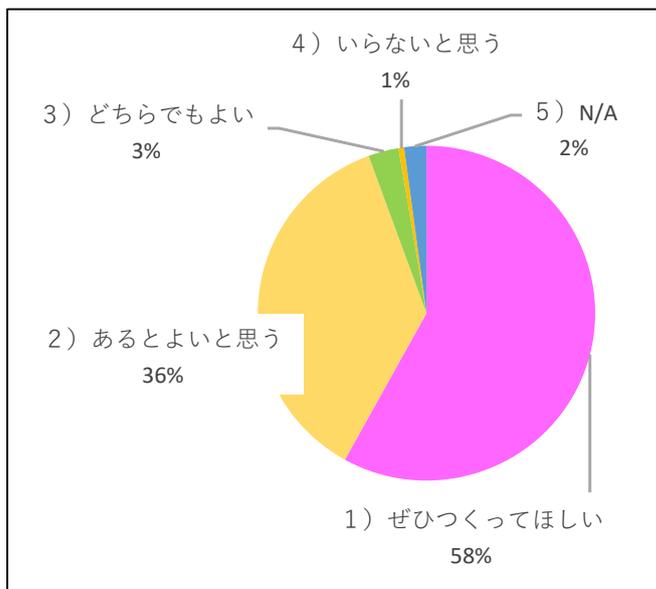
*県や市町など地域によって対象や範囲、内容に違いがあります。詳細はこちら→

- 1) はい 2) いいえ



(2) 「妊産婦医療費助成制度」は長崎県内の市町で実施しているところはありませんが、制度の創設についてはどう思われますか？（1つのみ）

- 1) ぜひつくってほしい 2) あるとよいと思う 3) どちらでもよい 4) いらないと思う



5. 自由意見欄 (抜粋)

行政や医療機関への要望、妊婦健診や医療機関受診の際に、コロナ禍で苦勞されていることなど自由にご記入下さい

【新型コロナウイルス 関連】

- * 金銭的負担が大きいことはもちろん、気軽に相談のできる状態をとってほしい。実家は両家ともに県外にあるため、手伝ってくれる人はおらず引っ越したばかりで友人もおらず、コロナ禍で母親学級もないただためママ友もおらず、とにかく孤独な妊娠と出産と育児です。出産も旦那だったら立ち会い可能にすべき。共に生活しているわけだから、今更立ち会い禁止にする意味がわからない。とにかくただひたすら孤独だった。(20歳代)
- * コロナが原因で夫が同席受診が出来ないため、夫から直接先生に質問したり、子を見ることができず、父親になる自覚が湧きにくいようです。何かいい打開策があれば講じて頂けると助かります。(20歳代)
- * 夫が県外に行く仕事なので、妊娠の可能性があったとしても、すぐに病院にかかれないうという不安があります。諦めるしかないのかとも思うところです。家庭環境は様々なので、もう少しで医療機関に受診しやすかったら、不安も解消されるのかな?と思います(30歳代)
- * 同じ境遇の知り合いがない為、情報共有できず赤ちゃんがきちんと成長してくれているのか、産後についても不安な面がある。(20歳代)
- * 自治体や産院での母親学級、プレパパ学級はコロナで軒並み中止となっています。佐世保市は参加が抽選となっており適切な時期に全員が参加できませんでした。またなぜかオンライン開催がなかなか進んでいません。早急な対応をお願いしたいです。(30歳代)
- * 夫が県外出張が多かったが、コロナ禍で病院では県外の人との接触だけでも2週間は受診できなかったため、検診が遅れてしまって困ることがあった。(20歳代)
- * 地元を離れての初産のため、近くに相談できる人が全くおらず、コロナで母親教室等にも参加できず、妊娠を喜んでくれる人や一緒に過ごしてくれる人がいないため、孤独で精神的におかしくなりそうです。この状況で出産して、自分の精神状態が子どもに悪影響を及ぼすのではないかと不安で仕方ありません。(30歳代)

【妊婦健診 関連】

- * 経済的理由で妊婦検診を受けられない方がたくさんいます。(20歳代)
- * 妊娠出産にはとにかくお金がかかるという印象を持ちました。妊婦健診も毎回エコー検査があるのに補助券には含まれない回も多く、そのたびに自己負担3000円、産休取得のために証明書発行し2500円、さらには母子手帳をもらう前にも何度も受診しましたがそれらはすべて自己負担。新しい生命を生み出すことの喜びはもちろん大きいのですが、経済的負担がありすぎて、これでは少子化が進むのも無理はないと思います。

妊娠出産にかかる医療費が自己負担ゼロになるのが理想です。(20歳代)

【医療費 関連】

- * 私は不妊治療をして1年に100万円以上かかっています。妊娠したあとはたくさんお金がかからない世の中になって欲しいです。(30歳代)
- * 出産には様々な助成制度がありますが、それ以外に思っていたより本当にお金がかかります。妊娠中も産後も子どもが第一で自分の事は後回しにしがちですが、妊娠出産を機に体力や抵抗力が一気に低下し、様々な不調が出てきました。妊産婦医療費助成制度は必要だと思えます。(30歳代)

【行政への意見 関連】

- * 金銭的な不安があり子どもを産むか考えたり、不妊治療を諦めたりという選択になっていくと思うので、金銭的な部分を助成する制度が他の都道府県なども含めて差がないような形だと良いと思う。(30歳代)
- * 働いている女性の多くは出産後、育児休暇を取得し収入が激減またはゼロになります。働いていた頃は自分に掛かる経費(携帯代や保険代)は自分で払えましたが、支出が無くなれば貯金を切り崩すか家計の支出として払ってもらえないといけなくなります。プラスして子供に掛かるお金で収入が減るのに支出は増える。少しでも助成があれば、凄く助かると思えますし、金銭面で子供を諦めている家庭の助けになると思います。(30歳代)
- * 同年代の恋人と将来の話もしますが、金銭的な面から長崎で子どもを生み育てることは到底考えられません。(30歳代)
- * 産休に入り収入が減ることによる生活費の補助を希望。(20歳代)
- * 妊娠期間中体調不良などでの休みが増えて減給もあっているため、育児休業期間中の給付金の計算に、育児休業開始前6ヶ月間の支給額での計算ではなく、妊娠期間前の支給額で計算して欲しいです。(20歳代)
- * 妊娠初期はつわり、中期から後期にかけては切迫早産のため仕事が数ヶ月できない状態になりました。そ

うい場合の休暇制度や補償や補助を作って欲しい。(40歳代)

- * 今現在の長崎県の対応は妊婦、子育て世代にとっては厳しい県だと思います。働きたいのに働けなく収入は減るのに出費は増える。育休取得できる所が本当に少ない。産後もオムツやミルク子供の病院代等でかなりお金がかかります。職場復帰するにも育休がなければ再就職を見つければならないです。しかし子供が小さいと呼び出しがかなりあるのでなかなか見つけるのも大変。保育園に入れなければ再就職も探せない。悪循環でしかありません。(30歳代)
- * 若い男女に妊娠・出産・産後の夢のような喜びだけでなく、現実的なリスクや社会的な課題を知る機会をもっと増やして下さい。また、子育ては性別関係なく参加できるように、育休が当たり前にとれるように企業に呼びかけ、罰則を作ってください。このままでは、長崎で生活し続けるのは無理です。もう「今までそうだったから」の枠にはまる時代ではありません。(30歳代)
- * 妊娠、出産は病気ではありませんし、個人の自由なので、全過程に置いて援助をというのは違うかもしれませんが、妊娠、出産を女性は命懸けで、自分の人生を子どもに捧げる覚悟で行います。社会的地位や、心身の変化を受け入れながら頑張っています。金銭的な不安もたくさんあります。不妊治療を受けている方々も、同じです。それを少しでも理解出来る社会にしてください。これは、女性だけの問題では無いはずで。男性がどれだけ協力し、支えになってくれるかが重要です。心身的、社会的、金銭的に安心して妊娠、出産、子育てが出来る機会を平等にみんなに与えられる社会にしてください。子どもを産み育てることが、本来の希望を持って行える社会を望みます。(30歳代)

【妊娠期間中 関連】

- * 妊娠中から保健師や助産師との連絡を取り合える機会を作って欲しい。(30歳代)
- * 産後うつ、児童虐待は誰にでも起こりうる、という事を妊娠中から知れたらいいと思う。産後に自分がそうなっても、周囲に異常者扱いされるのが怖くて誰にも相談できず事態が悪い方に向かうと思うから。(30歳代)

【地理 関連】

- * 島は交通の便が不便。妊娠中の運転は不安だったが自家用車で受診するしかなかった。バスやタクシーで受診できるように交通費の手当てがあると嬉しい。(30歳代)
- * 波佐見町の近くに産婦人科が少なく県外の産婦人科に通院していたので近くにあれば安心してマタニティライフを送れるようになるのではないかと思います。(20歳代)
- * 長崎市南部に住んでいます。産婦人科が無く、とても不便でした。出産直前まで自分の運転で長崎大学病院に通いました。駐車場の渋滞で坂道で待つのはとても辛かったです。(40歳代)
- * 佐世保市の離島に住んでいます。健診の交通費用の援助をして頂けるのですが、申請が面倒つわりが酷く病院との行き来だけでも精一杯なのに...、と思った事もあります。(30歳代)

【こども医療 関連】

- * 産んだ後の…小児医療費に関しても、予防接種の無料化をもっと枠を広げてほしい。(40歳代)
- * 小児科が少ないのでふえてほしい(30歳代)
- * 子供の医療費もタダにしてほしい。
- * 小児科に行って一目見ただけでこれは皮膚科に行ってくださいと言われ、それだけで800円も払わされた。(20歳代)
- * 6年前に切迫早産時にもしいま出産すると、県内で産めません。佐賀県に搬送します。と言われ、本当に不安でした。NICUの充実も急務ではないでしょうか。(30歳代)

【子育て支援 関連】

- * 産後の悩みはとりあえずここに電話していいよ、とわかりやすい受付先が欲しいです。(30歳代)
- * 第3、4子の双子を出産したが、兄弟児の世話をしながらの双子乳児の世話は凄まじいものがあり、必死すぎて記憶はほぼありません。産後検診やファミサポなど産後のケアまでしてあげて欲しいです。(30歳代)
- * 産んで終わりの育児ではないので、子どもが成人するまでの助成をもっとほしい。(30歳代)
- * 子育てにかかるお金がだいぶいろんな制度ができて助成をいただいたりして助かっているのですが、まだ足りないです。現金給付でなくてもいいのです。おむつ券、ミルク券、ベビーフード券などあったら助かります。子どもは欲しい、育てたい、でもお金がないから諦めると…。自分たちが生きていくだけでも必死です。(30歳代)

【不妊治療 関連】

- * 不妊治療を開始しようとしたが、長崎では病院の選択肢が少ない。不妊治療を含む妊娠や出産に対する助成やサポートが他県にくらべて少なく感じる。これでは若い世代の県外への流失は加速するし、私のように他県から移り住んだ人たちの満足度も低い水準のままだ。本気で改革して欲しい。(30歳代)
- * 妊婦に対する制度も大切ですが、少子高齢化が進む今、妊娠に向けての不妊治療に対する

助成制度も充実させてほしい。(30歳代)

- * 妊婦健診より不妊治療助成金について検討して欲しい。市によって助成金も違うので統一して欲しいです。(30歳代)

【その他】

* 現状以上の優遇が必要とは思いません。(30歳代)

* 現時点で至れり尽くせりなのに、あれこれ要望し現実化したらこの先の税金が恐ろしい。(30歳代)